

<b>打合議事録</b>		<b>作成日</b>	2019年6月24日(月)
		<b>作成者</b>	株式会社タニタ・佐川
<b>開催内容</b>	アルコール検知器協議会 技術委員会		
<b>開催日時</b>	2019年6月24日(月) 14:00~15:10 (@CIVI 研修センター新大阪東 E703)		
<b>出席者</b>	議事進行: 技術委員長・畑 出席者: 会員各社 (出席者名簿による)		
<b>議論内容</b>	<p>1) 技術委員会副委員長選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 開票結果より、副委員長はヤナコ計測の上西様にて決定。</li> </ul> <p>2) 外部検定の運用に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 4月受付分に関して、全体的に少し遅れ気味であるが、JBAC認定予定日の8月1日はずらさないようにCERI様と調整済み。5月受付分に関しては順調。</li> <li>● 6月受付分よりは検定審査会をグループ化して対応進める。</li> <li>● 検定申請後に、組立、検査工場移転時は、変更届で対応予定。</li> </ul> <p>3) 外部検定の審議事項に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本的には書類審査では落とさない。不備があれば修正依頼をして対応する。</li> <li>● 外部試験に落ちた場合の処置に関して <ul style="list-style-type: none"> <li>①書類審査はなしとしたい</li> <li>②再申請方法 (現行、再申請書類がない) のルール決めが必要。</li> <li>③機器抜き取りに関しては、CERI様にて現地再抜き取りを実施。再見積必要。 (合同委員会にて再考する)</li> </ul> </li> </ul> <p>(委員メンバーより)</p> <p>→申請書類に新規、再申請のチェック欄を設けて、各種書類が紐づくようにするのがよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 品質保証体制の評価結果がなかった場合はCERI様に判断してもらう。</li> <li>● 認定通知書の必要有無に関しては合同委員会で報告。</li> </ul> <p>4) 検定審査会グループに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 登録会社の15社の内12社で4グループ作成。各グループで書類審査を実施する。</li> <li>● 4グループ内でリーダー会社選定する。(次回CERI様回答前まで)</li> </ul> <p>(委員長より)</p> <p>→審査会グループの審査方法に関して実際に集まって実施してもよいし、メールベースでの処理でもよい。グループごとにより進め方を決めてもらう。</p> <p>→現状1か月程時間をとっている。全体で4か月かかっているが、なれてくれば期間短縮も可能と考えている。今後検討していく。</p> <p>(委員メンバーより)</p> <p>→審議会グループ分けに関して、関西、関東など集まりやすいグループ分けにしたほうがよいと考える。</p> <p>(委員長より)</p> <p>→会社同士で相談して、グループ変更しても問題ない。</p>		

	<p>5) 検定審査会の進め方に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 申請書類に関しては宣誓書と取説の整合処理必要</li> <li>● 合格通知書が現在ないため、試験成績書を発送。原紙は申請事業者へ。 (今後、原紙保管場所等検討されれば変更する可能性あり)</li> </ul> <p>6) アルコールガスのトレーサビリティ調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ウェットガス（シミュレータ）とドライボンベガスの相関調査WG設置。参加企業募集。</li> </ul> <p>7) JB20001規格及びJIS化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● JB20001規格策定WG設置。参加企業募集中。 (委員メンバーより)</li> </ul> <p>→海外の検定規格を参考にされていると思うが、上げ足を取られないように規格策定が必要。従来品と検定品の識別方法が必要。抜き取り4台に関しても、チャンピオン品、合格しやすい裏仕様の抜け道が考えられるため検討が必要と考える。</p> <p>→同じ仕様の場合、申請時に主品番に副品番の紐づけで申請できればよいと考える。後から、追加で同仕様の別品番派生の可能性もあり。その際の申請方法の検討が必要。</p> <p>→同じ仕様の場合、何を持って同じ仕様とするか明文化する必要あり。 変更申請の対象事項に関して区分けが必要。課題として検討必要。</p> <p>8) 義歯安定剤に対する技術的対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 長崎大、徳島大との共同研究に関しては、合同委員会にて報告。</li> <li>● 技術委員会にて、検証実験のためのWG設置予定。</li> </ul> <p>(委員長より)</p> <p>→FAQs作成して回覧する。</p> <p>(委員メンバーより)</p> <p>→議題が多い場合、1時間ではなく2時間確保、もしくは別日を設ける必要があると考える。</p>
<p><b>宿題事項</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 検定審査会グループ分け（グループリーダーの選定）</li> <li>● 認定通知書の必要有無（合同委員会にて再考）</li> <li>● 外部検定の再申請方法の策定</li> <li>● 同じ仕様の別品番申請に関する仕様明文化</li> </ul>
<p><b>スケジュール</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第3回技術委員会：10月24日（@東京）</li> <li>● 第4回技術委員会：12月3日（@大阪）</li> <li>● 第5回技術委員会：2月25日（@大阪）</li> </ul>

以上